
短 報

地域包括支援センターにおける看護職の課題

～インタビュー内容のテキストマイニング分析より～

杉原百合子^{*1}, 山田 裕子²

¹ 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻
京都府立医科大学医学部看護学科看護学講座

² 同志社大学社会学部社会福祉学科

Issues Confronting Nursing Profession at Regional Comprehensive Support Centers

— Text Mining Analysis of Interview Contents —

Yuriko Sugihara, Hiroko Yamada

¹ Graduate School of Nursing and Health Care Science
Master of Nursing and Health Care Science, Kyoto Prefectural University of Medicine
School of Nursing, Kyoto Prefectural University of Medicine

² Faculty of Social Studies, Doshisha University

抄 録

本研究は、2006年介護保険制度の改正に伴い設置された地域包括支援センター（以下、センター）業務に従事する看護職の現状と課題の明確化を目的とした。センター7ヶ所の看護職7名（保健師1名、看護師6名）を対象に「センター看護業務の現状と課題」を焦点にインタビューを行い、Text Mining Studio Ver.4.2を用いて質的分析を行った。インタビューで語られた内容を「単語頻度解析」で分析した結果、「地域」「人」「包括」「学区」「看護師」「教室」「予防」「二次」「連携」などの語句が高頻度に出現していた。文章の意味のまとまりをみるため「言葉ネットワーク」で話題を抽出すると、『地域や行政との連携と工夫』『二次予防業務の煩雑さと工夫』『地域の状況の複雑さ』『センター内での業務と役割分担』『看護職の役割とジレンマ』の5つのカテゴリとなった。看護職はジレンマを抱えつつ、予防給付やその時々新たに導入される業務に追われながらも、さまざまな工夫や取り組みにより、看護職の役割を模索している様子が明らかになった。

キーワード：地域包括支援センター、看護職、課題、テキストマイニング。

Abstract

This study was conducted for the purpose of identifying the current state and important issues confronting nurses employed at regional comprehensive support centers established following revision of the Nursing Care Insurance System in 2006. The subjects consisted of seven nurses employed at seven centers. The subjects were interviewed while focusing on the current state and important issues

平成26年4月22日受付 平成26年6月2日受理

*連絡先 杉原百合子 〒602-0857 京都市上京区清和院口寺町東入る中御壺町410

regarding the duties performed by nurses at the centers. A qualitative analysis was performed on the resulting data using Text Mining Studio Ver. 4.2. As a result of analyzing the contents of the interviews by word frequency analysis, words such as “community”, “people”, “comprehensive”, “school district”, “nurse”, “exercise intervention”, “prevention”, “secondary” and “coordination” appeared at a high frequency. When issues were extracted with a “word network” in order to examine coherency of the meanings of the statements made, five categories were established consisting of “coordination and contrivances between the community and administration”, “intricacies and contrivances of secondary prevention duties”, “community circumstances and complexities”, “duties performed and allocation of duties at the centers” and “role and dilemmas of the nursing profession”. Nurses were determined to be searching for their roles as nurses by making various contrivances and efforts despite being overwhelmed by prevention benefits.

Key Words: Regional Comprehensive Support Centers, Nurse, Issues, Text Mining Analysis.

地域包括支援センター（以下、センター）は、「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること」を目的に、2006年介護保険制度の改正に伴い設置された施設であり、社会福祉士、主任介護支援専門員に加え、保健師あるいは経験のある看護師（以下、看護職）の3職種が配置された。

センターにおける主要な4業務（①介護予防、②総合相談支援、③権利擁護、④包括的・継続的ケアマネジメント支援）のうち、看護職には介護予防における専門性の発揮が期待され、さらにセンター全体で、情報の共有や相互の助言等を通じ、連携して対応することが求められている。3職種が連携し協働する上で、従来から地域における保健活動を行ってきた保健師を主とする看護職への期待とその果たすべき役割は大きいと思われる。そこで、本研究では、「センター看護業務の現状と課題」の明確化を目的とし、インタビュー、質的分析を行った。

インタビュー項目は、地域の状況、業務内容、センター内3職種の連携と役割分担、地域における連携、今後の課題などである。インタビュー時、同意を得た上でインタビュー内容を録音し、逐語録を作成し、Text Mining Studio Ver.4.2を用いて分析した。Text Miningとは、テキストデータを形態解析し、単語を変数とみなし量的・質的に分析する方法である。今回はText Mining Studio Ver.4.2を用い、単語頻度解

析（単語のテキスト出現回数分析）と、言葉ネットワーク（単語間および単語と属性の関連を分析）を行った。本研究は、本学倫理審査委員会の承認を受け、同意書に署名を得、個人情報の保護に努めた。

調査対象は、A市B区地域包括支援センター7ヶ所（B区の全数である）の看護職7名（保健師1名、看護師6名、平均年齢44.9歳、センターでの経験年数平均3年11か月）であり、2011年9月～11月にインタビューを実施した。

インタビューで語られた内容の総行数は927行、のべ単語数は23483個であった。“単語頻度解析”で分析した結果、「地域」「人」「包括」「学区」「看護師」「教室」「予防」「二次」「連携」などの語句が高頻度に出現していた。文章の意味のまとまりをみるため“言葉ネットワーク”で話題を抽出すると、『地域や行政との連携と工夫』『二次予防業務の煩雑さと工夫』『地域の状況の複雑さ』『センター内での業務と役割分担』『看護職の役割とジレンマ』の5つのカテゴリーにまとめることができた。

『地域の状況の複雑さ』では、地域で精神疾患を持つ人や独居高齢者が増えている様子が語られた。『センター内での業務と役割分担』では、予防給付業務による負担についての語りがあったが、以前に比べ徐々に軽減している様子などが語られた。また、他の職種から看護職の役割を予防給付のみに限定するような意見にも直面し、3職種間での役割分担、連携の難しさについての語りもみられた。『看護職の役割とジレ

予定とする。なお、サンプルサイズについては、今回対象とした区域の全数が7箇所であり、7名を対象とした。質的研究におけるデータ収集はデータ飽和時に終了するとされており³⁾、今回の結果を各対象者のインタビューごとに参照し飽和状態とみなせる状態になったと判断した。

文 献

- 1) 山田裕子, 峯本佳世子, 齊藤千鶴, 杉原百合子. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員の役割. 埋橋孝文, 同志社大学社会福祉教育, 研究支援センター編, 新しい福祉サービスの展開と人材育成. 京都: 法律文化社, 2010; 54-78.
- 2) 峯本佳世子, 杉原百合子, 山田裕子, 齊藤千鶴, 田中

結 語

保健師, 看護師共にジレンマを抱えつつ, 予防給付やその時々新たに導入される業務に追われながらも, さまざまな工夫や取り組みにより, 看護職としての役割を模索している様子が明らかになった。

開示すべき潜在的利益相反状態はない。

- 八州夫. 地域包括支援センターにおける社会福祉士の課題—フォーカス・グループ・インタビューでみえた専門職のジレンマ—. 介護福祉学 2013; 20: 126-136.
- 3) 勝野とわ子. 看護学領域における質的研究方法について. 広島大学保健学ジャーナル 2003; 1-3